

平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年2月7日

上場会社名 図研エルミック株式会社
 コード番号 4770 URL <http://www.elwsc.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝倉 尉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 江口 慎一

TEL 045-624-8111

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	554	14.4	26		26		29	
29年3月期第3四半期	484	32.7	122		122		218	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	4.73	
29年3月期第3四半期	34.78	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	705	522	74.1	83.19
29年3月期	785	552	70.4	87.92

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 522百万円 29年3月期 552百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年 3月期の業績予想(平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,000	13.1	35	155.7	35	168.3	24		3.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	6,284,944 株	29年3月期	6,284,944 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	160 株	29年3月期	160 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	6,284,784 株	29年3月期3Q	6,284,787 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期貸借対照表関係)	6
(四半期損益計算書関係)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、企業の設備投資、IT投資が堅調に推移するとともに、雇用環境の改善や訪日客の増加に支えられた消費の持ち直しも加わって、回復基調が継続いたしました。

当社が属する情報通信・エレクトロニクス業界におきましては、企業のIoT（Internet of Things）分野への投資が活発さを増しており、昨年秋にはスマートスピーカーやエンターテインメント・ロボットの新品が発売される等、AIやディープラーニングの実用化に向けた研究開発の裾野が広がるとともに、機器類向け半導体製品の需要増があり、業況は大幅改善が続きました。

このような事業環境の中で当社は、通信ミドルウェア事業の単一セグメントでの事業形態として、この事業に経営資源を集中的に投下して経営基盤の強化に努めております。このうちIPセキュリティ分野において、お客様から高い評価をいただいている監視カメラ／ネットワークカメラ向けの当社ミドルウェアにおいて、今後のIoT普及に伴うストリーミング等の新規需要拡大に向け、パッケージ化した製品やサービスの開発に力を注ぐとともに、FA分野において、機械装置への機能安全に関連する規格を実装させるソフトウェア開発環境や、汎用イーサネット機器をFAネットワークに簡単に統合するためのミドルウェアを相次いで開発し、スマートファクトリー向け需要の開拓に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は5億54百万円（前年同四半期比14.4%増加）となりました。また損益面では、営業損失は26百万円（前年同四半期は営業損失1億22百万円）、経常損失は26百万円（前年同四半期は経常損失1億22百万円）、四半期純損失は29百万円（前年同四半期は四半期純損失2億18百万円）と、大きく改善いたしました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は7億5百万円となり、前事業年度末に比べ79百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の増加1億2百万円、仕掛品の増加13百万円、前払費用の増加11百万円があったものの、受取手形及び売掛金の減少1億84百万円、長期前払費用の減少22百万円等によるものであります。

負債の部は1億83百万円となり、前事業年度末に比べ49百万円減少いたしました。これは主に、買掛金の減少22百万円、賞与引当金の減少17百万円、長期前受収益の減少30百万円等によるものであります。

純資産の部は5億22百万円となり、前事業年度末に比べ29百万円減少いたしました。これは、四半期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少29百万円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年5月8日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	290,257	392,864
受取手形及び売掛金	355,371	※ 171,112
商品及び製品	6,782	7,034
仕掛品	14,071	28,058
原材料	1,070	1,141
前払費用	38,796	49,825
その他	9,931	3,010
貸倒引当金	△100	△100
流動資産合計	716,182	652,946
固定資産		
有形固定資産	12,100	8,765
無形固定資産	20,492	29,676
投資その他の資産		
投資有価証券	3,500	3,500
長期前払費用	29,697	7,684
その他	5,249	5,199
貸倒引当金	△1,850	△1,850
投資その他の資産合計	36,597	14,534
固定資産合計	69,190	52,976
資産合計	785,373	705,922

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	48,642	26,499
未払法人税等	3,181	5,724
前受収益	60,233	70,499
賞与引当金	34,578	17,061
製品保証引当金	9,047	9,052
その他	25,372	33,500
流動負債合計	181,056	162,338
固定負債		
長期前受収益	41,497	10,604
退職給付引当金	2,729	2,729
その他	7,526	7,403
固定負債合計	51,753	20,737
負債合計	232,809	183,076
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	135,998	135,998
利益剰余金	△83,343	△113,060
自己株式	△91	△91
株主資本合計	552,563	522,846
純資産合計	552,563	522,846
負債純資産合計	785,373	705,922

（2）四半期損益計算書
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）
売上高	※ 484,374	※ 554,328
売上原価	242,800	282,663
売上総利益	241,573	271,665
販売費及び一般管理費	363,935	298,604
営業損失（△）	△122,361	△26,938
営業外収益		
受取利息	3	3
受取手数料	83	112
為替差益	—	3
その他	6	29
営業外収益合計	93	149
営業外費用		
支払利息	54	55
為替差損	632	—
営業外費用合計	687	55
経常損失（△）	△122,955	△26,844
特別損失		
固定資産除却損	17	58
特別退職金	3,570	—
訴訟関連損失	89,154	—
特別損失合計	92,741	58
税引前四半期純損失（△）	△215,697	△26,903
法人税、住民税及び事業税	2,953	2,953
法人税等調整額	△43	△139
法人税等合計	2,909	2,814
四半期純損失（△）	△218,606	△29,717

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

I 前第3四半期累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

当社は、平成28年6月24日開催の定時株主総会における「資本金の額の減少の件」の決議に基づき、その効力発生日である平成28年8月1日付で、資本金の額1,202,036千円のうち702,036千円を減少させ、減少した資本金の額全額をその他資本剰余金に振り替えた後、平成28年8月25日開催の取締役会の決議に基づき、その他資本剰余金を647,924千円減少させ、繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損填補を行っております。

なお、株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。

II 当第3四半期累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

（四半期貸借対照表関係）

※ 四半期会計期間末日満期手形

四半期会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期会計期間末日満期手形が四半期会計期間末日残高に含まれております。

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
受取手形	一千円	8,110千円

（四半期損益計算書関係）

※ 売上高の季節的変動

前第3四半期累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）

当社の売上高は、通常の営業形態として、第2四半期会計期間及び第4四半期会計期間に完了する業務の割合が多いため、四半期会計期間毎の売上高に季節的変動があります。

当第3四半期累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

当社では、製品の出荷やお客様の検収が9月及び3月に集中することから、第2四半期会計期間及び第4四半期会計期間の売上高及び営業利益の割合が高くなる傾向があり、四半期会計期間毎の業績に季節的変動があります。